

平成27年度 第2回 恵庭市中小企業振興審議会 会議録（要旨）

- 日 時 平成27年11月9日（月） 10:00～10:45  
○場 所 恵庭市民会館 第1会議室  
○出席者 委員）行澤委員、梅田委員、北口委員、小松委員、佐藤委員、高原委員、  
竹田委員、寺本委員、細川委員  
市）原田裕市長、中島経済部長、高澤経済部次長、江川商業労政課長、  
藤井商業労政課主査、高橋商業労政課主任、浅野商業労政課主事

■開 会

(1)会長挨拶

(2)市長挨拶

市長から会長へ恵庭市中小企業振興基本計画案に係る諮問書の受け渡し

(3)議事1 恵庭市中小企業振興基本計画(案)について

事務局より、平成27年の第1回審議会開催後に行った中小企業振興基本計画(案)の修正箇所とその後の経過について説明。

**事務局** 今年の5月に開催した審議会で出た意見などについて、恵庭市中小企業振興協議会を3回開催し、内容の検討を重ねてきた。経営実態調査を基に、市の現状と課題についてSWOT分析を行い、6つの基本戦略、今後の施策の方針について検討し、計画の素案を取りまとめた。

前回の審議会の主な意見では、中小企業振興基本計画の役割を市民にもっと知ってもらう必要があるとのことだった。また、大きな修正事項としては資料1から3をご覧頂きたいが、数値目標を設けるべきではないかとの意見が出た。資料1については当初の基本計画案の内容になっている。進行管理をする際に具体的な数値目標がある方が確認しやすいということから数値化可能なものは検討したほうが良いのではという意見が出た。経営実態調査を3年後と5年後に再度実施し、内容を比較し、確認することで具体的に事業が実施できると考えられるため、複数の数値目標を設けられないかという意見が出た。そこで資料2のとおり、数値目標を設定し、5月19日の協議会の中で検討したが、協議会の中でも様々な意見があり、その中で大きな変更点は数値目標の部分である。資料3をご覧いただきたい。協議会の中で検討した結果、5年後ということもあり、今後進行管理を担う協議会で検討し数値を定めることとした。

資料2では平成32年度に具体的な数値を記載しているが、資料3を最終的に計画案とした。

数値として現れにくい結果もどのように表現していくか協議会で検討していくこととしたい。

また、パブリックコメントを行い市民から広く意見を求めたが、実施結果として、意見は出なかった。これを受けて、市議会で計画案について意見を求めたが、市議会からも意見は出なかった。ただし、修正事項ではないがいくつか質問事項は出た。

- ・計画の策定だけで終わらず、具体的な施策をやっていくこと
- ・様々な施策展開を掲げているが何に重点を置くか
- ・企業自らが創意工夫し、経営安定に向けた改善努力をしていくことが必要である
- ・市の役割としてどう携わっていくか
- ・関係団体とどう関わりを持っていくか
- ・工業団地の造成について、雇用確保が難しい現状で造成する必要性はあるのか

あくまで、議会からは意見ではなく質問として出された。以上で報告を終わる。

会長 この計画案に関して、パブリックコメント及び市議会からは意見がなかったということだが、先ほどの事務局からの修正箇所などの報告を受けて、計画案に質問や意見はないか。また、恵庭市中小企業振興基本計画というのは（仮称）ということになっているため、名称についても意見などないか。

（全員） 意見なし

会長 本日の審議会は、中小企業振興基本計画および名称の確認について諮問されているが、基本計画案の内容を承認し、仮称となっている計画の名称については、「恵庭市中小企業振興基本計画」と確定することとしてよろしいか。

（全員） 異議なし

会長 過半数を超える承認を得たため、これをもって、審議会の意見とする。なお、恵庭市中小企業振興審議会としての意見を取りまとめた答申書に

については、11月16日（月）に私と副会長である黒田氏の2名で、市長に対し提出することとしてよろしいか。

**（全員）** 異議なし

**会長** 最後に全体をとおして、意見・質問があれば受けたいと思うが、何かあるか？

**委員 A** 計画案の内容について、意見ではなく、文言の確認を行いたい。P.10の「卸売・小売業の事業所数と出荷額の推移」とあるが「出荷額」は「販売額」ということでよいか。また、p.11の「農業生産額と農家戸数の推移」の「生産額」は「産出額」でよいか。  
また、農業については平成22年で数値が終わっている。それ以降については北大の先生にも確認したが、道全体の数値はあるが、各市町村の数値はないと聞いている。平成22年度の数値であり、古い数値とはいえないが、今後何年か経つと古いデータとなってしまう。  
例えば、農協と連絡を取って、可能であるのならば数値を入れたほうがいいのではないか。行政の方で判断して欲しい。

**事務局** 文言については、指摘のとおり訂正を行う。確かに、市町村ごとに数値は出していない。市内の農業については、農協の出荷額で類推できると思う。しかし、恵庭市は酪農も盛んであるが、酪農については農協に出荷しているところと、サツラクに出荷しているところがあり、農協からの数値だけでは正確な数字は出せない。おおよその部分については、今後農協の数値から類推できると思う。

**会長** p.10とp.11の文言については、委員A委員の指摘のとおり修正することとしてよいか。あくまで、言葉の修正のみであり、計画の内容自体が変わるものではない。

**（全員）** 異議なし

**会長** 他にはないか。

**委員 B** p.21以降に4つの具体的な基本戦略と施策の方針について記述があるが、意見ではないが気になった点がある。創業についてだが、国の制度で域

内で創業したい人に対して補助金が出るものがある。ただし、申請のためには自治体が策定する創業支援事業計画の認定を受けなければ対象とならない。農商工連携において「ふるさと名物応援宣言」という制度を活用するには、地域資源活用事業計画を自治体が策定していなければいけない。恵庭市ではまだ策定していないようだが、これらを策定することを計画に盛り込むかは別として検討していただきたい。

**事務局** 意見を頂いたので、市の取組に盛り込んでいきたい。計画を実行していく中での目玉となる取組の一つになると思う。創業の部分について、市で把握しきれていない部分がある。創業について、市からの企業に対するPRが足りない部分は確かにある。

**委員 B** 市の役割の部分として重要な取組の一つになると思う。

**会長** 今、出た意見については、計画に盛り込むかは別として、今後、前向きに取り組むということでよいか。

**(全員)** 異議なし

**会長** その他にあるか。無ければ、事務局から何かあるか。

**事務局** 一点、報告をしたい。11月6日に中小企業振興協議会を開催した。兼ねてから協議会では意見が出ていたが、個人の意見をより出し易くするために協議会の中に部会制度を設けることにした。2部会設け、名称も含め今後どう展開していくについて検討することとなった。また、従来の委員に加え、新しく3名の新しい委員を入れ、新しい視点を取り込もうと考えており、年明けに開催する予定である。その中で、先ほど**委員 B**委員に出して頂いた意見について協議会の部会で具体的に検討することとしたい。

**委員 A** 最後にもう一つだけ確認したい。p.16の(3)の2行目から「売上が上昇している企業は世代交代が比較的進んでいるものの、事業承継などが進んでおらず後継者がいない状況であるといえる。」との記載があるが、売上がある企業は事業承継が進んでいるとはいえ、市全体としては事業承継が進んでいないという意味で捉えてよいのか。文章がわかりづらいように思う。

**委員 B** 売上はあるが、承継者がいないから廃業する企業があるということか。

**事務局** 売上がある企業は、後継者がいるが、全ての業種がそういうではなく、売上が減少しているような企業は事業承継をする者が少ないということである。

**委員 A** 文章をわかりやすいように少し変更したほうがいいのではないか。

**会長** 計画案の内容自体に影響は出ないが、文章をよりわかりやすくするよう文面を検討していただくこととしたい。  
他に意見や質問はあるか。

**(全員)** 意見なし

(閉会)